

令和5年度用

市出資法人

団体自己評価（自己評価シート）

団体名：一般社団法人 大山田農林業公社

所管部課名：産業振興部 農林振興課

団 体 名	一般社団法人 大山田農林業公社	[公益法人会計用]
-------	-----------------	-----------

【経営基本情報】

○団体の基本情報

所 在 地	三重県伊賀市平田103番地				
H P ア ド レ ス	https://noringyo.or.jp/				
電 話 番 号	0595-47-0151	F A X 番 号	0595-47-0244		
代 表 者	上 田 賢 博	設 立 年 月 日	平成7年2月28日		
市 所 管 部 等	産業振興部 農林振興課	市 出 資 額	80,000 千円	市 出 資 割 合	58.45 %
団 体 の 目 的	森林、農用地の保全事業等を行うとともに、農業経営の合理化を図るため農地の集積を促進し、生産性の高い近代化農業を確立し、もって農林業者の経済的社会的地位の向上を図る。				

○主な事業内容

[事業規模]

(単位:千円)

事 業 名	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	備 考
(1) 農地保全管理事業	16,596	16,169	1,569	
全事業合計に占める割合	22.02%	20.26%	2.53%	
(2) 特産品開発事業	950	1,961	2,250	
全事業合計に占める割合	1.26%	2.46%	3.62%	
(3) 収益事業	41,030	48,548	42,955	
全事業合計に占める割合	54.44%	60.82%	69.17%	
(4) (1)～(3)以外の事業	16,798	13,141	15,331	
全事業合計に占める割合	22.29%	16.46%	24.69%	
全事業合計	75,374	79,819	62,105	

[事業の概要]

- (1) 農地利用集積円滑化事業、土地利用協議会の運営
- (2) 特産物の開発、菜種搾油施設の管理
- (3) 農産物加工所、菜種搾油施設の運営、菜種の刈取
- (4) 農林業公社の管理運営

○財務概況

(単位:千円)

		令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
正味財産増減計算書	経常収益 (a)	60,211	59,872	45,223
	経常費用 (b)	75,373	79,819	62,105
	当期経常増減額 (c) = (a) - (b)	△ 15,162	△ 19,947	△ 16,882
	当期経常外増減額 (経常外収益 - 経常外費用) (d)		△ 1,222	0
	当期一般正味財産増減額 (e) = (c) + (d)	△ 15,162	△ 21,169	△ 16,882
	当期指定正味財産増減額 (f)		6,670	667
	当期正味財産増減額合計 (g) = (e) + (f)	△ 15,162	△ 14,499	6,670
貸借対照表	資産	168,564	146,369	129,798
	負債 (h)	154,196	146,571	140,285
	指定正味財産 (i)		6,670	13,340
	一般正味財産 (j)	14,368	△ 6,873	△ 23,826
	正味財産 (k) = (i) + (j)	14,368	△ 203	△ 10,486
	負債・正味財産合計 (l) = (h) + (k)	168,564	146,368	129,799

団体名	一般社団法人 大山田農林業公社	[公益法人会計用]
-----	-----------------	-----------

○財務に関する主な指標

	指 標	計 算 式	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
安 定 性	正味財産比率	正味財産／(負債＋正味財産)	8.52 %	△ 0.14 %	△ 8.08 %
	借入金依存率	借入金／(負債＋正味財産)	0.00 %	0.00 %	0.00 %
	経常比率	経常収益／経常費用	79.88 %	75.01 %	72.82 %
	自己収益比率	自己収益／経常収益	80.90 %	86.25 %	84.20 %
収 益 性	当期経常増減率	当期経常増減額／経常収益	△ 25.18 %	△ 33.32 %	△ 37.33 %
	総資産当期経常増減率	当期経常増減額／(負債＋正味財産)	△ 8.99 %	△ 13.63 %	△ 13.01 %
効 率 性	人件費比率	人件費／経常費用	43.20 %	40.03 %	38.64 %
	管理費比率	管理費／経常費用	22.29 %	16.46 %	19.45 %

○役職員の状況

(※派遣職員は含まない)

	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	備 考
常勤役員	0 人	0 人	0 人	R5平均年齢: 歳
うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R5平均年収: 千円
常勤正規職員	3 人	4 人	4 人	R5平均年齢: 47.1 歳
うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R5平均年収: 2,060.0 千円
その他職員	14 人	14 人	13 人	
うち市退職者	人	人	人	

○市からの財政的支援など

(単位:千円)

	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
委託料	3,056	2,000	2,000
補助金・助成金	500	500	500
負担金	4,000	4,000	4,000
借入金(期中に借り入れた額の合計)			
その他市支出金(追加出資額等)			
計	7,556	6,500	6,500
借入金残高(期末残高)			
債務保証額(期末残高)			
損失補償限度額			
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)			

団 体 名	一般社団法人 大山田農林業公社	[公益法人会計用]
-------	-----------------	-----------

○団体の目標達成状況等

●中・長期経営計画の策定の有無

有	☒	計 画 期 間	令和10年	策 定 予 定 時 期	
無	☐				

●中・長期経営計画による目標及びその達成状況

目 標	年度収支差額をプラス400万円にする
実 績	

●年次事業計画による達成目標

令和5年度 目標	▲700万円
令和5年度 実績	▲1000万円
令和6年度 目標	0万円

団 体 名	一般社団法人 大山田農林業公社
-------	-----------------

団体自己評価結果

- A(90%～100%):良好な事象や傾向がみられる
 B(60%～89%):やや良好な事象や傾向がみられる
 C(30%～59%):改善を要する
 D(0%～29%):大いに改善を要する

	比 率	評 価
目 的	77 %	B
事 業	53 %	C
経営計画	58 %	C
経営状況	38 %	C

団体自己評価表

1. 目的に対する評価

	比率	77 %	評価	B	回 答 欄
1 団体の目的は現在でも社会的要請があるか					①
2 民間企業等が事業の実施主体となることは不可能か					①
3 市との役割分担を踏まえ、団体で実施するメリットがあるか					②
4 事業内容は目的に対し意義・効果が認められるか					②
5 団体が設定している目標は、目的や行政目的の達成に寄与する指標となっているか					②
6 社会経済状況に応じ経営改善に取り組んでいるか					②
7 市民に対し情報公開・情報提供しているか					①

2. 事業に対する評価

	比率	53 %	評価	C	回 答 欄
1 団体の事業全体について、成果は十分に上がっているか					③
2 事業毎に目標を設定しているか					①
3 目標の達成状況を評価・活用しているか					①
4 顧客ニーズ及び顧客満足度を把握しているか					④
5 顧客からの問い合わせ、意見等への対応は適切か					①
6 内部統制は十分に実施されているか					②
7 危機管理体制は十分に整備されているか					③
8 組織体制は十分に整備されているか					②
9 管理費比率及び人件費比率は適正か					③

3. 経営計画に対する評価

	比率	58 %	評価	C	回 答 欄
1 経営基本方針等を定め、役員・職員に浸透しているか					②
2 中長期経営計画を策定し、運用しているか					③
3 外部環境、経営資源を把握、評価し、中長期経営計画に盛り込んでいるか					①
4 中長期経営計画と実績との差異を分析し、計画を見直しているか					①
5 年次事業計画と実績との差異を分析し、改善しているか					①
6 中長期経営計画、年次事業計画は市の方針を反映したものとなっているか					④
7 計画目標達成のため、人材育成・能力開発を行っているか					③
8 計画の実施にあたり、進捗管理の体制が十分に整備されているか					②

4. 経営状況に対する評価

	比率	38 %	評価	C	回 答 欄
1 収支の状況は健全であるか					④
2 累積欠損金が発生していないか、債務超過ではないか					④
3 財務基盤についての指標は適正か					③
4 収益における市への依存度は適正か					④
5 総資産当期経常増減率は適正か					④
6 開発用不動産等及び有価証券等の含み損益を把握しているか					①
7 債権管理は十分か					①
8 借入金返済は可能か					①
9 基本財産や運用財産を適正に運用しているか					③
10 必要な額の特定期間（引当金）が設定されているか					④

※ 回答 ①＝5点 ②＝3点 ③＝1点 ④＝0点とし各部門ごとに比率を算出しています。

比率＝(合計点)÷(総回答数×5点)×100

団 体 名	一般社団法人 大山田農林業公社
《団体自己評価コメント》	
目 的	当初の目的を維持しながら、一般社団法人に移行し収益事業も加え、農林業者の経済的社会的地位の向上を図っている
事 業	目的に沿った事業を実施しているが、今後、収益事業体としての体制を整えていく
経 営 計 画	中期の収支見通しを策定し、それに沿った事業展開に努めている。又、年次計画を策定し、月次で実績との祖語を確認しながら計画達成に努めている
経 営 状 況	人件費削減の速度が不十分であったため、大きな経営改善ができなかったが、経営判断のためのデータを蓄積する仕組みを構築し、収益の出る組織体となるよう努力している
総 括 コメント	新型コロナウイルスの影響が残り、厳しい経営環境となっている。理事会や総会等でいただいた厳しい意見を履行し、高い生産性を追及して全従業員協力のもと、業績改善に取り組んでいる

【市の審査及び評価結果】

空白：団体自己評価結果と概ね同じ評価

＋：団体自己評価結果に比べて高く評価（良好な点が認められる）

－：団体自己評価結果に比べて低く評価（課題が認められる）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令 和 5 年 度 コ メ ン ト
目 的	団体自己評価	B	B	B	公益事業の農地所有者代理事業は、農業者の高齢化や担い手の減少などにより、事業目的に対する要望は年々増加している。
	市の評価	＋			
事 業	団体自己評価	B	B	C	収支の改善を図るための実効性ある取り組みが必要であり、特に加工所の停止、受注生産体制への移行など、抜本的な改革が急務であり、遅滞なく実施すること。
	市の評価	－	－	－	
経 営 計 画	団体自己評価	C	B	C	収支均衡に向けた実効性ある経営計画の策定と実施が求められる。収支状況の改善に向けた、あらゆる可能性を不断に検討し、経営改善の取り組みを着実に履行していくこと。
	市の評価	－	－		
経 営 状 況	団体自己評価	C	B	C	法人を継続するために全体の収支均衡、黒字化を図ることが喫緊の課題である。赤字経営が続いている収益事業の改革や大幅な経費の削減など、抜本的な経営改革を確実に遂行されたい。
	市の評価	－	－	－	

《市の総括コメント》

公益事業である農地所有者代理事業は、農業者の高齢化や担い手の減少により耕作が続けられない農家が増える社会情勢のなかで、地域からの要望が高まっており、取り扱う農地の面積は増え続けている。
令和5年度の取り組みで長年行われてきた非効率な経営の一部改善されたが、依然として赤字経営は続いており、法人の存続自体が危機的状況となっている。収入の増加と支出の削減は平行して取り組む必要があるが、赤字経営の原因となっている収益事業の経費縮減は「待ったなし」の状況となっている。非効率・不合理な経営を至急是正し、6年度に収支均衡、黒字化が図られるよう至急かつ確実に実効性ある経営改善の取り組みを履行されたい。